

(その二)

工場又は事業場の名称	ナイテック印刷株式会社
	ナイテック印刷株式会社

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
1	1	5	5	9	1				

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

受注の増減により変動が大きくなる為、単純に排出量だけで見ると対策の効果が出ないと思われるので、印刷の生産量(枚数)を原単位として別枠で示します。
基準年度(H19年) 0.055kg / 枚割
計画年度(H22年) 0.052kg / 枚割
を目標にする。

備考 3 (2) に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
1	1	5	5	9	1				

(その四)

工場又は事業場の名称	ナイテック印刷株式会社 ナイテック印刷株式会社
------------	----------------------------

3 基準年度以前から実施している揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) 基準年度における処理回収率等

	基準年度			
	平成17年度			
使用量 (kg/年度) (1億キログラムを超える場合は、下段に指数表示で記載すること。)	5	1	0	0
	×10			
排出等の量 (kg/年度)	1	0	0	0
処理回収率 (%)	80			

基準年度までに、浮屋根式タンク又は内部浮屋根式タンクに改造した固定屋根式タンクの基数(基)

備考

- この項の提出は任意であること。
- 基準年度は、2(1)の基準年度と一致させること。
- 使用量及び排出等の量は、2(1)の基準年度におけるものと一致させること。
- 処理回収率は、次の式により算出される数値を有効数字2桁で記載すること。

$$[(\text{使用量} - \text{排出等の量}) / \text{使用量}] \times 100$$

(2) 基準年度以前から実施している対策の内容

基準年度以前から実施していた対策であって、現在も実施しているものについて、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策1	対策2	対策3	対策4	対策5	対策6	対策7	対策8	対策9	対策10
1	1	5	5	9	1				

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

備考 この項の提出は任意であること。

(その三)

工場又は事業場の名称	(株)クラウンプリンテング 東京工場
------------	-----------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策1	対策2	対策3	対策4	対策5	対策6	対策7	対策8	対策9	対策10
1/1	2/1	2/2	9/1						

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

印刷時 使用溶剤を水性化の方向へ切り替えるにあたり、
機械的乾燥設備の改造に時間を要する為、削減率目標を
28% → 9.4% へ下方修正致しました。

備考 3 (2) に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策1	対策2	対策3	対策4	対策5	対策6	対策7	対策8	対策9	対策10
1/1	2/1	2/2	9/1						

(その三)

工場又は事業場の名称	小西紙業株式会社 関宿工場
------------	------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策1	対策2	対策3	対策4	対策5	対策6	対策7	対策8	対策9	対策10
1 1	1 2	2 1	2 3	2 9	3 1	3 2	9 1		

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

29、切り替え作業中の溶剤カバーの徹底
計画設定時の削減目標は処理装置導入により42%を達成する計画であったが、諸般の事情により処理装置導入を断念し送風量の変更により対応することにした。したがって、当初目標の42%削減から使用量を抑えて35%に目標を変更した。

備考 3 (2) に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策1	対策2	対策3	対策4	対策5	対策6	対策7	対策8	対策9	対策10
1 1	1 2	2 1	2 2	2 3	2 9	3 1	3 2	9 1	

(その三)

工場又は事業場の名称	伊藤喜オールスチール（株） 本社、工場
------------	------------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
1 9	2 1	2 2	3 4	5 4	9 1				

その他（1 9, 2 9, 3 9, 4 9, 5 9; 9 9）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

19: トルエン・キシレンフリーの接着剤の使用。

塗装の原材料において、揮発性有機化合物を含まないタイプの導入を検討したが現時点で困難である為、目標を71%から46%に変更する。

備考 3 (2) に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
1 9	2 1	2 2	3 4	5 4	9 1				

(その三)

工場又は事業場の名称	株式会社 トーカン
	株式会社 トーカン

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
19									

その他（19，29，39，49，59，99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

使用量の多いトルエンについて削減に取り組んでいる対策である。
エスカレーター用ゴム手摺の生産途中で多量に使用する。
ゴム手摺の芯になる部分は綿布が重なる構造で、ゴム糊を接着剤として使用する。
このゴム糊を溶解する希釈剤としてトルエンを使用する。最終的に乾燥、大気放出となる。
対策は、構造を一新し、リサイクル可能材料である樹脂材をゴムの代替とする。
芯の部分の綿布を使用せず、ナイロン布1枚に樹脂をくっ付けて芯材とする。
長年の開発の成果が実り、一部の機種で製品化となり、トルエンの削減に寄与している。
生産工程で、トルエンを使用する工程がなくなる。
環境にやさしい製品である樹脂手摺の販売拡大により、トルエンの削減に貢献する。

しかし、現状では不具合が発生しているため、当面の間は改修工事に全力を注ぎます。
そののち再度、販売拡大に努力してトルエン削減に貢献してまいります。

備考 3 (2) に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
19									

(その四)

工場又は事業場の名称	ユ=オレノイソ/(株)千葉事業所
------------	------------------

3 基準年度以前から実施している揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策
 (1) 基準年度における処理回収率等

	基準年度					
	平成12年度					
使用量 (kg/年度) (1億キログラムを超える場合は、下段に指数表示で記載すること。)	3	0	0	0	0	0
	×10					
排出等の量 (kg/年度)	2	4	0	0	0	
処理回収率 (%)	99					

基準年度までに、浮屋根式タンク又は内部浮屋根式タンクに改造した固定屋根式タンクの基数(基)

--	--	--	--	--

備考

- この項の提出は任意であること。
- 基準年度は、2(1)の基準年度と一致させること。
- 使用量及び排出等の量は、2(1)の基準年度におけるものと一致させること。
- 処理回収率は、次の式により算出される数値を有効数字2桁で記載すること。

$$\{ (\text{使用量} - \text{排出等の量}) / \text{使用量} \} \times 100$$

(2) 基準年度以前から実施している対策の内容

基準年度以前から実施していた対策であって、現在も実施しているものについて、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策1	対策2	対策3	対策4	対策5	対策6	対策7	対策8	対策9	対策10
2	/								

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

備考 この項の提出は任意であること。

(その三)

工場又は事業場の名称	株式会社パッケージハセガワ 関宿工場
------------	-----------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
1 2	2 1	2 2	2 3	9 1	9 2				

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

お詫びと訂正
弊社が提出した自主取組計画書の「(1)揮発性有機化合物の排出等の量の目標」の数値に関し、下記の原因により誤りがあったことをご報告しお詫び致します。
原因
①使用量に関してVOC含有物の全体量との誤った認識がありました。
②弊社の資料を基に、表計算ソフト利用してVOC排出量を算出できるように作成しましたが設定した数式に誤りがありました。
③入力した数値に誤りがありました。
上記誤りにより下記の通り訂正いたします。
基準年度使用量97000kgより74000kg、基準年度排出量を63000kgより71000kg。
目標年度使用量95000kgより70000kg、目標年度排出量を44000kgより67000kg。
当初計画をした目標削減率は、上記の誤った計算により算出したものであるため、変更致します
目標削減率30%より5.6%。

備考 3(2)に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
1 2	2 1	2 2	2 3	9 1	9 2				

(その三)

工場又は事業場の名称	日立化成ポリマー株式会社 野田工場
------------	----------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
11	21	56							

その他（19，29，39，49，59，99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

--

備考 3 (2) に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
11	21	56							